

事業報告

I 事業の概況

本公益財団法人は、岡山県における理工学に関する研究を振興するとともに、先端技術の向上を目指した大学と産業界等との連携を図り、もって学術及び技術開発の進展に寄与することを目的として、以下の事業を実施した。

1 事業の実施状況

(1) 学術研究助成事業

公益目的事業1（岡山県内における理工学に関する学術研究の助成事業）に掲げる事業は、次により行った。

① 事業の目的

岡山県内における理工学に関する学術研究を助成し、その振興を図ることにより、先端科学技術の向上を目指し、広く科学技術社会の発展に寄与することを目的とする。

② 事業の概要

イ) 学術研究助成の対象

理工学の学術分野の基礎及び応用研究であって、研究者が1人で行うもの、または2人以上の研究者が同一の研究課題について共同で行うもの。

ロ) 研究助成の種目と助成額

A) 内山勇三科学技術賞

内山工業(株)元会長故内山勇三氏の寄附金により設けたもので、特色ある先導的な研究を対象とする。

2 件	1 件	200 万円	400 万円
-----	-----	--------	--------

B) 岡山工学振興会科学技術賞

一般研究 特色ある研究を格段に発展させるための研究を対象とする。

8 件	1 件	70 万円	560 万円
-----	-----	-------	--------

萌芽研究 研究者が主体的に行う研究で、将来の発展が期待できる優れた着想を持つ研究を対象とする。

4 件	1 件	40 万円	160 万円
-----	-----	-------	--------

ハ) 募集方法

岡山県内の大学理工系学部及び高専、研究機関に3月初旬公募要項を配布（財団ニュース131号及び財団ホームページに掲載）4月8日に締切った。

ニ) 選考方法

研究分野による専門委員の選考と併せ選考委員会において選考した。

ホ) 研究助成応募状況

種 別		応募数	採択数	採択率	備考
内山勇三科学技術賞	特別研究	6	2	33	
	一般研究	29	8	28	
	萌芽研究	9	4	44	
計		44	14	32	

③ 研究助成採択課題と研究代表者

種 別	所属機関・職	氏 名	研 究 題 目	助成額
内山勇三 科学技術賞 特別研究	岡山大学 異分野基礎科学研究所 教授	久保園芳博	2次元層状物質を基礎にした圧力誘起高温超伝導相の創出	200 万円
	岡山大学学術研究院 環境生命自然科学 学域（工） 教授	山内 利宏	IoT 機器のソフトウェアサプライチェーンを考慮したセキュリティ対策技術の研究開発	200
岡山工学 振 興 会 科学技術賞 一般研究	岡山大学 資源植物科学研究所 准教授	谷 明生	新しい生物元素であるランタノイドへのメタノール資化性細菌の応答	70
	岡山大学学術研究院 環境生命自然科学 学域（理） 教授	鄭 国慶	高温スピン三重項トポロジカル超伝導体の機能創出に関する研究	70
	岡山大学学術研究院 環境生命自然科学 学域（理） 教授	吉井 大志	生物発光を用いた体内時計のモニタリング技術の開発	70
	岡山大学学術研究院 環境生命自然科学 学域（工） 准教授	小橋 好充	減圧沸騰噴霧の産業応用に向けた基盤技術に関する研究 ―気液二相流の不足膨脹と膨張波を考慮した数理モデル構築―	70
	岡山大学学術研究院 環境生命自然科学 学域（工） 講師	中村 幸紀	人間と機械を包摂したモデルベース開発による農作業支援システムの構築	70
	岡山大学学術研究院 環境生命自然科学 学域（環） 教授	永禮 英明	細菌と微細藻類とによる省エネルギー型廃水処理技術の開発	70
	岡山大学学術研究院 環境生命自然科学 学域（環） 教授	前田 守弘	家畜ふん由来薬剤耐性遺伝子の土壌中における分解・吸着・移動メカニズムの解明	70

	岡山大学学術研究院 ヘルスシステム統合 科学学域 准教授	渡邊 和則	第一および第二近赤外光に依存したRNA輸送による高効率アポトーシス誘導剤の開発	70
岡山工学 振興会 科学技術賞 萌芽研究	岡山大学 異分野基礎科学研究所 教授	仁科 勇太	ウイルス吸脱着材の開発	40
	津山工業高等専門学校 総合理工学科 教授	細谷 和範	落花後も吹き飛ばされにくい軽い花冠の流体力学的な特徴の把握と産業利用方法の検討	40
	岡山県立大学 情報工学部 准教授	大下 和茂	生体電気インピーダンス法における周波数の異なる交流の抵抗から骨格筋の質を評価する方法の検討	40
	就実大学 薬学部 講師	山本 浩司	高輝度円偏光発光を志向したらせん型カルバゾールアザボリン二量体の開発とキロプロティカル特性解明	40

(2) 産学官連携事業の助成

公益目的事業2（岡山県内における理工学に関する産学官連携研究会の助成事業）に掲げる事業は、次により行った。

① 事業の目的

岡山県内の大学、研究機関、企業、行政等で構成される理工学に関する研究会等に対し、その経費の一部を補助し、研究活動及び産学官連携の促進を支援することを目的とする。

② 助成対象の研究会等

財団が設置を認めた産学官連携研究会等

③ 産学官連携研究会等の助成実績	2 件	15 万円
岡山新材料技術融合フォーラム		7 万円
岡山振動音響技術研究会		8 万円

(3) 学術交流推進助成事業

公益目的事業3（岡山県内における理工学に関する学術交流推進事業の助成）に掲げる事業は、次により行った。

① 事業の目的

岡山県内における理工学に関する学術研究または学術集会を助成し、その振興を図ることにより、先端科学技術の向上を目指し、広く科学技術社会の発展に寄与することを目的とする。

② 事業の概要

学術交流推進助成の対象

種 別	所属機関・職	氏 名	研 究 題 目	助成額
学術交流推進助成事業	岡山大学 教授	藤井 正浩	粘弾性材料の摩擦低減に関する研究	円 500,000
	川崎医科大学 教授	原 浩貴	鼻呼吸障害が睡眠中の呼吸機能に及ぼす影響に関する研究	500,000
	岡山大学 教授	藤井 達生	磁性酸化鉄材料の研究開発	300,000
	岡山大学 教授	藤井 正浩	粘弾性材料の摩擦低減に関する研究	800,000
	岡山大学 教授	森実 真	皮膚科組織・細胞工学学術研究基金	91,080
	計		5 件	2,191,080

(4) 学術的研究成果並びに先端学術情報等の普及の促進

定款第4条(3)(成果の普及)(4)(情報の収集及び提供)に掲げる事業は、次により行った。

① 学術的研究成果及び学術情報の普及

岡山大学工学部研究年報、理学部研究業績一覧、県内大学の研究年報等情報並びに(公財)岡山工学振興会ニュースを企業・研究機関に提供。

ホームページ(URL: <http://ofst.or.jp/>)に掲載。

② ANNUAL REPORT OF THE OKAYAMA FOUNDATION FOR SCIENCE AND TECHNOLOGY

(公財)岡山工学振興会年報の発行と配布。

学術研究助成者の研究成果報告等の報告に基づき、ANNUAL REPORTを毎年発行し、県内の大学、研究機関及び企業に配布した。また、令和3年度から、表紙を刷新、ロゴマークを入れ、A4版にするとともに、ページ数を減らし、読みやすくした。

(5) 地域企業等との連携・交流事業

定款第4条(5)(6)(連携・交流)に掲げる事業は、次により行った。

① 岡山新材料技術融合フォーラムの開催

② 岡山振動音響技術研究会の開催

(6) 寄附金に関する事項

寄附の目的	寄 附 者	申込金額	領収金額	備考
学術研究助成	内山工業（株）赤坂研究所	円 500,000	円 500,000	
	(医)伯鳳会 赤穂中央病院	500,000	500,000	
	DOWA エフテック(株)	300,000	300,000	
	内山工業（株）赤坂研究所	800,000	800,000	
	森実 真	91,080	91,080	
	(公財)岡山工学振興会	146,545	146,545	
	合 計	2,337,625	2,337,625	

2 重要な契約に関する事項

「該当なし」

3 正味財産増減の状況及び財産の状況

(単位：万円)

	令和3年 3月期	令和4年 3月期	令和5年 3月期	令和6年 3月期
経常収益合計	3,164	2,617	4,986	2,546
経常費用合計	3,604	2,838	2,394	2,980
当期正味財産増減額	1,409	△508	208	2,907
資産合計	47,223	46,687	50,999	53,549
負債合計	623	672	4,776	4,419
正味財産	46,600	46,015	46,223	49,130

II 法人の課題

公益財団法人として法律並びに定款の定めにより、より充実・安定した事業を継続するための体制の強化。

広報の充実と支援基盤の強化。

III 理事の職務の執行が法令及び定款に適合することを確保するための体制

監事2名を置いて、理事の職務執行を監査し、法令で定めるところにより、監査報告を作成することとしている。

IV 株式保有している場合の概要

内山工業株式会社株券を研究助成基金として寄附を受け、その運用益を公益事業の財源として使用している。

V 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実

「該当なし」

事業報告の附属明細書

1 定款に定める事業内容について補足すべき重要な事項

「該当なし」

2 事業の状況について補足すべき重要な事項

(1) 岡山県内における理工学に関する学術研究の助成事業

理工学分野の基礎及び応用研究であって、研究者が単独又は複数の研究者が同一の研究課題について共同で行うものを助成対象とする。また、令和2年度申請分から、奨励研究を萌芽研究に名称を変更し、年齢制限をなくし、応募種目の偏りをなくすとともに若手研究者の応募の向上を図った。

(2) 岡山県内における理工学に関する産学官連携研究会の助成事業

理工学分野の基礎及び応用研究に従事している研究者又は研究グループで岡山県下の大学、高専、公的研究機関、行政及び企業に所属する者で構成された研究会を助成対象とする。

(3) 岡山県内における理工学に関する学術交流推進事業の助成

岡山県内の研究機関等に所属する研究者等で、理工系の基礎及び応用研究又はこれらに関わる学術集会等を助成対象とする。

3 許認可について補足すべき事項

「該当なし」

4 事業の実施状況についての補足すべき事項

公益目的事業剰余金の解消計画として、学術研究助成事業の計画拡大を図ると共に、次年度以降の公益目的事業推進のための特定資産を令和5年度に購入した。

5 役員会等に関する補足すべき事項

「該当なし」

6 正味財産増減の状況並びに財産の増減の推移についての補足すべき事項

「該当なし」